

### 第3号様式

## 令和5年度第5回社会教育委員会議会議録

(令和6年3月11日作成)

#### 1 開催日時

令和6年2月2日(金曜日)午後3時00分から午後3時49分まで

#### 2 開催場所

市役所本庁舎 11階 大会議室

#### 3 出席者

(1) 委員 草野滋之、上内健生、平尾美佐、丹間康仁、

磯野一男、能勢恵美、西郡佳香、石川康二

(2) 職員 生涯学習部長、社会教育課長、文化課長、生涯スポーツ課長、

青少年課長補佐、中央公民館長、東部公民館長、

西部公民館長、北部公民館長、高根台公民館長、西図書館長、

市民文化ホール館長、郷土資料館長、青少年センター所長

(3) 事務局

社会教育課職員

#### 4 欠席者

酒井美佐子、高橋利明

#### 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

連絡・報告事項(公開)

(1) 社会教育課

・令和6年船橋市成人式にかかる実施報告

(2) 文化課

・史跡取掛西貝塚保存活用計画の策定に係るパブリック・コメントの実施結果について

・第28回ふなばし音楽フェスティバルの開催について

(3) 生涯スポーツ課

・第68回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会の実施報告

(4) 西図書館

・令和5年度船橋市西図書館所蔵資料展「推しと新収蔵大公開」

(5) 郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館

- ・郷土資料館 ミニ展示「桃の節句」の開催について
- ・令和5年度 小企画展「船橋の貝からみた海の変化」の開催について

6 傍聴者数（全部を非公開で行う会議の場合を除く）

1人

7 決定事項

連絡・報告事項について、質疑応答及び意見聴取を行った。

8 議事

次のとおり

9 資料・特記事項

別紙のとおり

10 問い合わせ先

教育委員会 生涯学習部 社会教育課

電話：047-436-2895

午後 3 時 0 0 分開会

○草野委員長

では、これより令和 5 年度第 5 回社会教育委員会議を開催いたします。

船橋市社会教育委員の会議運営に関する要綱第 6 条に基づく会議の成立委員定数を満たしておりますことから、本日の会議は成立していることをご報告させていただきます。

本日、船橋市情報公開条例第 26 条の規定により、船橋市の設置する附属機関の会議は原則公開とされていることから、傍聴人の受付をいたしましたところ、1 名から傍聴をしたい旨、申し出がありましたことを報告いたします。

それでは、傍聴人の方に入室していただきます。

(傍聴人 入室)

○草野委員長

傍聴者の方へ申し上げます。お渡しいたしました傍聴券の裏面に記載されております遵守事項についてお守りいただき傍聴されるようお願いいたします。

では、次第の 1 番、「連絡・報告事項」に進みます。

まず、(1) 社会教育課よりお願いいたします。

○社会教育課長

社会教育課です。連絡報告事項(1)「令和 6 年船橋市成人式にかかる実施報告」につきまして、資料は 1 ページをご覧ください。

令和 6 年成人式は、1 月 8 日に船橋アリーナにて 2 部制で実施いたしました。草野委員長には、ご多忙の中、長時間にわたりご臨席いただきありがとうございます。

表の合計欄にございますとおり、第 1 部と 2 部を合わせた参加者数は 4,210 名、参加率は 69.01%でした。昨年と比べますと 3.8 ポイントの増となっておりまして、昭和 47 年以降で把握している限りですが、平成 26 年成人式の 68.52%を超える過去最高の参加率でした。新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されたことが要因の一つではないかと思っております。

当日は事故もなく無事に終えることができましたが、一方で、送迎車による渋滞などの課題が今年もございましたので、成人式対象者や保護者を実施するアンケート結果なども参考に来年以降の対策を検討してまいります。

報告は以上です。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいまの事項について、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

どうぞ。

○磯野委員

よろしく申し上げます。磯野です。

お疲れさまでした。過去最高の参加率ということです。出かけてくる前に、いただいた資料と去年のものとを照らし合わせて見てみましたら、令和4年、5年、6年と順々に上がって、参加者がずっと増えてきている。大変すばらしいなと思いました。何か工夫があるのかなとも思いますけれども、いろんな意見を聞いて考えていくということでした。また頑張っ  
てほしいと思います。

併せて、ホームページのほうも、滅多に見ないのですが開いてみましたら、成人式に寄せる各中学校のページがありまして、3年生の元担任の先生と学年主任の先生方が寄せ書きをしたり、あるいは、学年主任の先生が代表で文書を寄せているんですね。全部は見れなかったのですが、何校かつまんで見ましたら、やっぱり教え子に対する思いというのが伝わってきました。もう学校を離れている先生も中にはいたと思うのですが、それでもこの子たちの門出に応援の言葉を寄せて、どの学校もつくってありました。そういう学校の先生方の取組もすばらしいと思いますし、計画をしていく市の方々、それから実行委員の方々の取組もすばらしいのではないかなと思いました。感想です。ありがとうございました。

○社会教育課長

ありがとうございました。毎年行っている行事ではございますけれども、その年その年の成人がいますので、毎年、委員を募集して、本人たちの考えなども入れながら実施している成人式でございます。引き続き、よりよい成人式になるようにやっていきたいと思っております。ありがとうございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ほかに成人式のことに関してどうでしょうか。ご意見、ご質問ありますでしょうか。

私も、1部、2部、両方参加しまして、非常に活気のある、さっき過去最高という話がありましたけれども、非常に若い人の熱気というか、そういったものを実感しまして、大変すばらしい式だったと思いました。

事前の準備にしっかり時間をかけて、一人一人司会をする人とか催し物に参加する人とか、いろんな立場で若者が参加したわけですがけれども、非常に表情も生き生きしていますし、これから社会人になるという意気込みなんかも感じられて、大変すばらしかったと思いました。自発的に若者たちがつくり上げるという姿勢というか、そういう会だったように思いますので、そういう若者主体の成人式というのを今後もぜひ続けていっていただきたいと思いました。どうもありがとうございました。

○社会教育課長

ありがとうございます。司会や二十歳のアピールという、いろいろ歌を歌ったり踊ったりというのも全て募集して、自ら手を挙げて参加してくれた皆さんで、そこでできる絆というものもあります。これから社会で進んでいく中で、宝物みたいなものになってくれるといいなと思います。ありがとうございます。

○草野委員長

こういう成人式の集まりとか企画づくりをきっかけにしながら、今後、船橋のまちづくりというか、いろんな面での参加ということをぜひ若者たちにやってもらえたらと、そういったことを強く思いましたので、行政のほうとしても、若者たちの社会参加、まちづくりへの参加ということについても、ぜひいろんな取組を進めていただけたらと思います。

○社会教育課長

心がけてまいりたいと思います。ありがとうございます。

○草野委員長

ほかにご意見はいかがでしょうか。

では、続けていきます。次の2番、文化課よりお願いいたします。

○文化課長

文化課でございます。まず、①の「史跡取掛西貝塚保存活用計画の策定に係るパブリック・コメントの実施結果について」をご報告させていただきます。

前回の会議にてご報告させていただきましたとおり、昨年12月15日から1か月間、パブリック・コメントを行いまして、結果として2件の意見が寄せられました。お手元の資料にはいただいたご意見の全文を掲載しております。

主な内容としましては、「遺跡の範囲内に居住する住民が不安に感じることはないよう、文化財の保護と住民生活が共存できる計画としてほしい。」、また、もう1件では、「遺跡の範囲内で農業を営んでいるが、無理やり移動させられることはないようにしてほしい。」、「将来的に公園にする際は、地震などの避難所となりふだん使いができる遺跡にしてほしい。」といったご意見でございました。

今後は、2月20日に開催される計画策定委員会で、このご意見も踏まえ、計画についてご審議していただいた上で、3月の教育委員会会議で計画の最終案を諮り、令和6年4月1日の計画施行を目指していきたいと考えております。

続きまして、資料の2ページをご覧ください。第28回ふなばし音楽フェスティバルの開催についてです。

「音楽でまちを元気に！」をテーマに平成9年から始まったこの催しでは、市と市民の皆様が共に企画運営し、市内地域で様々な音楽イベントを開催します。

3ページをご覧ください。既に終了しましたが、1月28日には市民文化ホール開館45周年記念として船橋第九演奏会を開催し、指揮者に国内外で活躍する武藤英明氏をチェコのプラハからお招きし、演奏は千葉県唯一のプロオーケストラである千葉交響楽団が奏でます。合唱団では公募で集まった10代から80代まで、年齢も合唱経験も様々な総勢140人の方が特別合唱団として共演しました。

次に、4ページの上段です。2月4日(日)に、今回で31回を迎える市内最大級の音楽イベント「音楽のまち・ふなばし・千人の音楽祭」を船橋アリーナで開催します。世代や音楽ジャンルを超えて交流できる場として様々な趣向を凝らしたプログラムを企画し、市民の皆様が音楽の楽しさやすばらしさをお届けします。今回は千葉県誕生150周年記念事業として、

船橋市内の学校で音楽を学び育った若手音楽家によるスペシャルオーケストラや、船橋愛をテーマに小中学生から募集した歌詞を織り込んだ千人の音楽祭のために書き下ろした新曲も披露します。

5ページ以降になりますが、さらに各公民館では、様々なジャンルの公演を行う地域ふれあいコンサートを行います。市民の皆さんが主体となって企画され、身近な場所でプロの音楽家などの生演奏を聴ける場として市民の皆様に親しまれています。

説明は以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいまの文化課からの報告について、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

どうぞ。

○丹間委員

1つ目の報告についてです。今回パブリック・コメントを実施していただきまして、件数としては2件ですが、住民の方の視点でのとても貴重なご意見が寄せられていると受け止めました。こういったご意見の中身や視点が大事だと思っています。

特に文化財の保存と活用ということで、今、全国各地の自治体で計画の策定が進んでいると思うのですが、保存と活用というのをいかに循環させていくかというのが大事な視点でして、保存しながら活用する、活用しながら保存するというようなことで、そういう点では、現在この地域にお住まいの方にとっての不安などを払拭しながら保存し活用していくことが大事だと思いました。

特に文化財というのは、時間で言いますと過去、現在、未来をつなぐようなものと受け止めています。ですから、今この文化財を私たちが知れる、学べるというのは、過去の先人たちがこれをきちんと残してきてくれたということですし、私たちがまたしっかりとこれを残していかないと未来の市民たちが活用できないということで、お二人目の方のコメントの最後に「未来の船橋市民にとって」と書いていただいていますので、確かに不安が住民の中にあると思いますけれども、そういった不安をきちんと解消しながら計画づくりを進めていただきたいと思っています。ありがとうございました。

○草野委員長

今、丹間委員から出ましたご意見、大変貴重なご意見です。保存と活用を進めていくということで、まさに地域文化といいますか、縄文から始まってこれまでの1万年近くに及ぶ長い歴史の中で築き上げてきた先人たちの苦労があつて、そういったものを踏まえて今の我々がいるということですので、そういう歴史的な意識にもつながってくると思います。ぜひこういうご意見を受け止めて進めていってください。お願いいたします。

ほかにご意見、ご質問ありますでしょうか。

今度の日曜日にあります千人の音楽祭ですが、私も何回か参加させていただいておりまして、去年はコロナが明けてようやく通常の開催に戻って、今年が2年目ということになりま

すけれども、去年参加しまして、コロナ明けということもあったのですが、まさに音楽という形で市民の方々や子供たちのエネルギーが爆発したという印象がありました。もう 30 年ぐらいになると思いますけれども、日本においても非常に貴重な文化イベントですので、これまでの歴史を受け継ぎながらさらに発展させていくような、そういう形でぜひ今後も続けていってほしいと思います。

どうなんでしょうか。もう 30 年という歴史を積み上げてきていますので、これまでの成果や歴史的な流れ、こういう音楽祭を継続してきた背景とか理由、それから、今後に向けてどういう課題があるのかとか、総括というところとちょっと大げさかもしれませんが、30 年の音楽祭の歴史を振り返って今後に向けてどういう祭典をつくっていくか、そういうシンポジウムじゃないですけども、いろんな関係者の方々が集まって議論をするような、そういう機会なんかも設けると今後の発展につながるのではないかと、これは私の個人的な意見ですけども、そういうふうに思いますので、その辺はいかがでしょうか。

#### ○文化課長

このイベントは平成 6 年に船橋アリーナの落成記念ということで、当時は 1 回だけのイベントのつもりだったのですが、非常に評判がよかったということで第 2 回、第 3 回と続いて、ついにはもう 30 回を超えてやっている状況です。このイベントは、音楽ジャンルも年代も超えて、市内のプロやアマの音楽家たちが一堂に会して、ぶつ切りの発表会ではなくて、みんなで一つの作品をつくり上げるような催しですので、実行委員の方もいつも夜 7 時から始まって 9 時、10 時までの実行委員会を何回も重ねて大変な苦勞をしてやっています。やるのはすごく大変というところもありまして、このままずっと同じように続けていくのか、はたまた違う形を目指すのかということで、第 30 回の開催とは別に、今年度あり方検討委員会みたいなものを開催して何回か話し合いをしました。その辺の結論は出ていないのですが、まずは第 31 回についてはこれまでどおりのやり方を踏襲して、特に 150 周年記念事業ですので盛大にやろうということで、来年度以降については、恐らくあり方委員会なども並行してやっていくのかなと思っています。ただ、30 回積み上げてきた歴史というのは非常に大切なものなので、それを十分尊重しながら、また新しい展開があるのかなども議論していきたいと思っています。

#### ○草野委員長

ありがとうございます。日本ではそういう音楽祭ということでいろんな地域でいろんなイベントがやられているわけですけども、やはり地域の独自性というか、船橋には船橋の独自の音楽的な文化的な土壌があって、その積み上げの中で今の祭典ができていますので、少し視野を全国的に広げて、いろんな地域でやっているような音楽イベント、文化イベントも参考にしながら、船橋の歴史あるいは現状を踏まえて、どういうイベントにしていけるのか、その辺の活発な議論を期待しておりますので、よろしく願いいたします。

では、この件についてはよろしいでしょうか。どうぞ。

#### ○丹間委員

千人の音楽祭も本当に大きなイベントで、すごいなと思って聞かせていただいたのですが、もう一つ、地域ふれあいコンサートというのも非常にすばらしい取組だなというふうに思います。全国を見ても公民館ごとに、しかも地区の公民館でリレー形式といいますか、それぞれを会場にしながら音楽のイベントをくまなく実施していくというのは、なかなか他にはないかなと。これはもしかすると船橋らしさの一つかなというふうに受け止めました。

ぜひ知りたいのは、それぞれの地区の公民館で、コンサートのテーマや出演者、演奏曲などに関係をもたせているのかどうか、あるいは、せっかくいろんな公民館でやりますので、公民館ごとのつながりや連続性も意識されて企画されているのか、もしかすると聴衆の方も全部順番に毎週のように回る方がいらっしゃるのか、そんな面としての広がりというのが地域ふれあいコンサートは面白いというふうに思いましたので、補足情報があれば教えていただきたいと思いました。お願いいたします。

#### ○文化課長

地域ふれあいコンサートとしての横のつながりといいますか、この音楽フェスティバルそのものが千人の音楽祭であったり、秋に実施しているミュージックストリートや地域ふれあいコンサートなど、様々な音楽イベントの代表の方が集まる音楽フェスティバル実行委員会というのがございまして、そこには地域ふれあいコンサートの実施団体代表の方も出ていただいている状況でございます。今おっしゃっていただいた全ての音楽イベントの相乗効果というところが大変課題になっていまして、正直そこがなかなか実施できていないのかなというところなんです。過去にはそういった議論の中で、パンフレットの表紙の右上にある「FMF」というロゴマークをつくりまして、イベントには必ずこのマークを入れたりしたのですが、まさに今その相乗効果というところが議論されていまして、これからというところかなと考えています。

#### ○中央公民館長

中央公民館です。地域ふれあいコンサートは、パンフレットをご覧のとおり全公民館26あるのですが、14公民館で開催されております。今、文化課長からございましたが、当該公民館で実行委員会の方が中心になっているいろんな企画、またその流れなどを話し合っていた中で、ちょっと悲しいかな、実行委員の方々もご高齢になってもうこれ以上できないというところも確かにあります。

ですので、各公民館で、ここには載っていないのですが、例えば中央公民館ではサンデーコンサートということで、12月、1月、2月と日曜日ごとにコンサートを開催しております。それは実行委員ではなく公民館主催という形でやっております。

ですので、やはり地域の方々の力をこれからどのように集結してできるかとか、いろんな地区で課題になっているところですが、参加される方はそれぞれこのパンフレットを見ながら、お好きな方は参加されているのかなというところなんです。ただ、横のつながりから、この方がどこへ行っているかまでは追っておりませんが、またそういう検証というのもちょっと面白いのかなとは思いました。



#### ○丹間委員

ありがとうございました。横のつながりや相乗効果ということですがけれども、地域ふれあいコンサートに関しては、公民館にふだん行かない方も、音楽をきっかけにして出かけていただくチャンスにもなると思いました。

いただいたパンフレットを見ているのですが、もしかしたら既にあるのかもしれませんがけれども、期間全体の催しのカレンダーや、それぞれの公民館の場所がそもそも分からない方もいますので、開催場所のマップが一緒にあると、この日はこっちに行ってみようとか、ここで何かやっているのかなとか、そんなふうに皆さん思っただけなのではないかと考えました。ぜひそういった「面」としての広がりというのを今後も期待したいなと思います。

#### ○草野委員長

そうですね。地域の公民館が中心になってこういった音楽コンサートを企画し、そこに住民の人が参加する。まさに公民館が音楽文化をつくる一つの拠点にもなっているということで、大変大事な取組だと思いますので、より広げていくような取組を今後もぜひ継続していただければと思います。

ほかに文化課の件についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、続きまして、3番目、生涯スポーツ課よりお願いいたします。

#### ○生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課でございます。資料10ページをご覧ください。第68回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会の実施報告をさせていただきます。

令和6年1月14日に船橋市運動公園をスタートいたしまして、船橋市総合体育館をゴールとします6区間のコースにて実施いたしました。

参加チームにつきましては、中学校の部、高等学校の部、一般の部、合わせまして61チーム、464人のご参加をいただきました。当日は沿道にたくさんの方が出ただきまして、ご声援を送っていただきました。そのような中、大きな事故もなく無事開催することができています。

また、この大会の開催に当たりましては、多くの関係機関、関係者の方々にご協力をいただいております。ご紹介をさせていただきます。

船橋警察署及び船橋東警察署の方々にはパトカーや白バイの配置、そして、押しボタンを除きます信号のある交差点箇所全てに警察の方を配置していただきました。そして、消防局の方には救急車を1台出させていただきました。職員も3名配置していただいております。

また、交通整理員の役員としましては、船橋市スポーツ推進委員協議会の方々141名、スポーツと健康を推進する会39名、交通安全協会15名にご協力いただきまして、そのほか警備会社やボランティアの方を含めまして237名の方に交通整理員のご協力をいただきました。

また、資料にはございませんが、本部役員等の陸上競技協会の方27名、そして中継所の役員等で小中学校の教員の先生方118名のご協力もいただきまして、盛大に無事開催することができました。

報告は以上となります。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいまの生涯スポーツ課の報告について、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

どうぞ。

○石川委員

旭中学校の石川と申します。どうもご苦労さまでした。

成人の日記念は、一般道を走るマラソンというのがほとんどないので、生徒たちにとっても一般の人たちにとっても非常にいい大会だなと思っております。

ただ、中学校のほうは、今までは船橋市から交通費というのが支給されて、それを使って生徒の送迎を行っていたのですが、それがなくなってしまったことによって、誰が車を出すんだという問題が発生してしまいました。それと同時に、車に乗せると事故が起こったときに誰が補償するのかということが問題になりまして、半分の学校はマイクロバスを使用しました。半分の学校はしようがなく教員の車を使って移動しました。うちの学校はどうしたかという、先生方には納得してもらって、一人一人に保険を掛けて教員に運んでもらいました。この辺りをはっきりと、こういうふうに運営しますよという形が出てこない、中学校側としてはどこからお金を出すんだという問題も出てくるので、その辺りは検討していただければありがたいなと思っております。よろしくをお願いします。

○生涯スポーツ課長

学校さんにも関わることで、学校教育部などともお話をしながら考えてまいりたいと思います。

○草野委員長

そういう生徒の安全、市民の安全ということに配慮したいろんなことがありますので、検討をよろしくお願いいたしますと思います。

ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

○上内副委員長

上内です。一般の部で参加させていただきました。その中で確認ですけれども、僕が初めて関わったときはチームが38とか39あったのが、今コロナ禍もあって減っていますけれども、これはまた増やしていきたいという思惑があるのか、行ってこいなのか、その辺をまずお聞かせ願いたいと思っております。

○生涯スポーツ課長

たくさんの方々にご参加いただきまして、盛大に開催したいというふうには考えておるところではありますが、やはり一般道を走るということの兼ね合いがありまして、警察署のほうからはあまりチーム数が多いようにというご意見も頂戴をしているところで、狭間に立っているところでございます。

○上内副委員長

僕の住む地区から2チーム出させてもらって、非常に盛り上がって、来年頑張るぞという話になっているんですね。そういう意見があったので、僕の参加しているチームの中では本当にありがたく思っております、もっと増やしたほうがいいよねという話になっています。

第4回の方に女性という話をしましたが、そのとき思ったのは、僕が運営側だったら、やっぱりあまり遅いランナーが入ってくると警察からつかれたりもするんだろうなと思ったので、一個人の意見としては、参加標準タイムみたいなものをつくったらどうかなと思いました。キロ6分とか5分半とか、そういう標準タイムをつくっておくと多分時間どおりに終わるといふか、あまり遅いランナーは多分走らないと思うのですが、そういうのがあると参加する側も参加しやすくなって、たとえチームが増えたとしても時間内に終わってうまく回るのではないかなと思いました。

○生涯スポーツ課長

ご意見ありがとうございます。やはり遅いチームが出てしまうということも考慮して、繰り上げスタートを第4区の方で行いまして、そういったことでも全体の時間が短くなるように考慮もしてございます。今ご意見いただいたことは運営に関わることなので、陸上競技協会、実行委員会にもかけまして、そういったことができるかどうかということを検討してまいりたいと考えております。

○上内副委員長

もう1点だけ。繰り上げスタートで4区までの間に1回だけ10分になったことがあって、10分というのはほぼ無理なんですね。相当練習しないと4区までにトップと10分差以内というのは無理なので、今は15分ですけれども、開催時間を短くするからといってまた10分になってしまうと、モチベーションが下がってしまうこともあるので、最低でも15分でそのまま継続していただきたいなと思います。

○生涯スポーツ課長

ご意見ありがとうございます。それも併せまして陸上競技協会にお話をしていきたいと思っております。以前に、トップを走る市船ですとか空挺団さんが大分早くて、たくさんチームが繰り上げになってしまったという話も聞いてございますので、そういったことも含めまして考えてまいりたいと思っております。

○草野委員長

ありがとうございました。

ほかに今後の大会に向けてのアドバイスとか、あるいはご意見ございますでしょうか。

○磯野委員

今の貴重な意見ですけれども、この場でなかなか深まらないので、これは実行委員会を開いたときや、あるいはスポーツ協会のほうも応援しているので、その会議の中でもできると思います。そこに陸協の方もお見えになりますから、その中でまた相談できると思います。今の意見を参考にして、また次回のところを考えればいいかなと思います。

確かに記録の問題と、ロードレースはもうできないだろうというのは前から言われている

ことなので非常に難しいのですけれども、東京でやったり、アクアラインでやったり、それとは条件が違いますので、そういう市だったらいいのですが、そこはちょっと難しいと思うんですね。できる中でどうやるかということがすごく大事だと思いますので、またスポーツ協会の中でも検討していきたいと思っています。ありがとうございました。

○生涯スポーツ課長

スポーツ協会さんのほうがご検討に加わっていただけるということで、ぜひよろしく願いたいと思います。

先ほどお話がありましたように、一般道を使うというところが、近隣ですと習志野市さんがロードを使ったマラソン大会ができなくなってしまったということがある中で、船橋市では警察の協力もいただきながら開催できる境遇ではありますので、開催に向けてまた頑張っていきたいと思います。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ただいま出た意見をぜひ検討していただきたいと思います。よろしくお願ひします。続きまして、4番目、西図書館より願ひいたします。

○西図書館長

西図書館でございます。令和5年度船橋市西図書館所蔵資料展「推しと新収蔵大公開」についてでございます。資料11ページをご覧ください。

西図書館では、所蔵しております浮世絵や絵図等の貴重資料を市民の皆様にご覧いただくため、毎年市民ギャラリーにて所蔵資料展を開催しております。今年度は、「推しと新収蔵大公開」と題しまして、2月27日（火）から3月3日（日）まで展示を行います。

西図書館の貴重資料を高精細画像で見ることができます船橋市デジタルミュージアムは、貴重資料の利用と保存の両立を目的とし平成29年7月に公開しております。これまで多くの方々に利用されております。公開から6年が経過いたしまして、総アクセス件数が400万を超えましたことから、閲覧数が多い資料の現物を展示いたしまして、本物をご覧いただくとともに、デジタルミュージアムでは未公開の資料も併せて展示いたしまして、西図書館貴重資料の豊富なコレクションを楽しんでいただける内容となっております。この機会にぜひご覧いただければと思っております。

以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいまの事項について、ご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。大変貴重な資料の公開ということで、これも大変楽しみです。期間がそんなに長期ではなくて1週間弱ぐらいなのですが、この期間でどうなんでしょうか、短いような気もするのですが。

○西図書館長

日程に関しましては市民ギャラリーと調整させていただいた上、毎年度この期間でということもございますし、資料の現物を公開するという事で、特に浮世絵などはあまり長期間展示しておりますと痛むという心配もございますので、ちょっと短いか、もっとご覧いただけたらいいんだろうなとは思いつつも、市民ギャラリーの環境の中で1週間程度が資料にとってもよいという考えのもと、1週間ということで毎年度やらせていただいております。

○草野委員長

分かりました。

ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、次に行きまして5番目ですが、郷土資料館よりお願いいたします。

○郷土資料館長

郷土資料館よりご報告いたします。

まず、1つ目ですが、郷土資料館ミニ展示「桃の節句」の開催についてご説明いたします。資料12ページをご覧ください。

郷土資料館では、2月18日（日）から3月17日（日）まで、船橋にゆかりのある人形師原米洲がつくった段飾りのひな人形を、郷土資料館2階のガイダンス映像横に展示いたします。また、今年度は習志野台にお住まいの方から寄贈を受けました藤娘も併せて展示いたします。

原米洲は、栃木県宇都宮市に生まれ18歳で上京、人形製法を学び、独自の技法の胡粉仕上げを生み出し、その技法が昭和41年に国の無形文化財に指定されております。船橋市宮本で人形製作をしていたことがあります。原米洲がつくる人形は幼い子供のようなふっくらした顔が特徴でございます。

続きまして、2つ目は、飛ノ台史跡公園博物館令和5年度小企画展「船橋の貝から見た海の変化」についてご説明いたします。資料は13ページでございます。

令和5年10月22日に奈良県立なら歴史芸術文化村（奈良県天理市）で開催された日本文化財科学会第40回記念大会において、飛ノ台史跡公園博物館の学芸員が行った船橋の貝塚に関する研究「ハマグリの成長速度に基づく古海況の変遷」がポスター賞に選考されました。このポスターセッションの参加総数は全部で127件、うちポスター賞に選考された総数は5件でございます。他に口頭発表等もあったと伺っております。

今回の企画展は、その研究成果を市民の皆さんにお伝えするとともに、博物館が収集保管している約30万年前から現在までの絶滅種を含む多種多様な貝殻化石を陳列し、船橋における温暖化と寒冷化や海面変動を解説し、海との関わりが深い海のまち船橋を市民の皆様にご理解してもらうことを目的としています。会期は2月10日から3月17日までとなります。

お時間、ご興味のある方は、ぜひ両館に足を運んでいただければと思います。

郷土資料館からは以上となります。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ただいまの郷土資料館の報告について、いかがでしょうか。ご意見、ご質問ありませんでしょうか。

この幼い子供のようなふっくらした顔が特徴ということで、あまりこういうひな人形を見たことがないのですが、やはり独特なものなのではないでしょうか。

○郷土資料館長

私もひな人形は特に詳しいわけではございませんが、よくテレビコマーシャル等で見るとひな人形は、ちょっときれいなお顔立ちといいたいでしょうか、ちょっと細身の感じのひな人形が今見かける中では多いように思っております。ただ、原米洲さんのひな人形については本当に昔の幼子のような優しい感じのかわいらしい風貌のお人形ですので、一回見ていただくと、昔のひな人形はこういう形だったのかなというふうに思えるかと思えます。

○草野委員長

ありがとうございます。ちょうど季節も桃の節句の季節で、こういう展示があるというのは大変貴重だと思います。よろしく願いいたします。

ほかにご意見、ご質問ございますでしょうか。

特にご意見、ご質問がないようなので、次第の2番、その他に参りますけれども、委員の皆様、何かありますでしょうか。

ちょっと順番が前後しますが、次第の1番の連絡・報告事項についての(1)から(5)までで、何か各所属から追加で連絡・報告事項はございますか。よろしいでしょうか。

では、最後に、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局

事務局からはございません。

○草野委員長

ありがとうございます。

では、これで次第が終了しましたので、令和5年度第5回社会教育委員会議を終了いたします。

本日の議事録署名の委員ですが、名簿の順番ですと、平尾委員、丹間委員ですが、よろしいでしょうか。

(両委員 了承)

○草野委員長

では、よろしく願いいたします。

本日はありがとうございます。

午後3時49分閉会